

雌阿寒岳

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

雌阿寒岳で、9 月 29 日 14 時 11 分頃から約 4 分間、火山性微動が発生しました。その後、火山性微動は発生していません。

本日（30 日）札幌管区気象台及び北海道大学が北海道消防防災ヘリコプターにより上空からの観測を実施しましたが、火口周辺の状況に変化はありませんでした。

雌阿寒岳では火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では警戒が必要です。

平成 20 年 9 月 29 日 14 時 30 分に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。

○ 活動概況

・上空からの観測結果（図 1）

本日（30 日）、北海道の協力を得て上空からの観測を実施しました。

ポンマチネシリ火口や中マチネシリ火口の状況、および赤外熱映像装置による地熱域の分布に変化はなく、噴煙にも変化は認められませんでした。また、火口周辺に噴石や降灰等の痕跡は認められませんでした。

・地震・微動活動の状況（図 2～3、表 1～2）

9 月 29 日 14 時 11 分頃から約 4 分間、振幅のやや大きな火山性微動が発生しました。雌阿寒岳では 9 月 16 日にも振幅の小さな火山性微動が発生しています（表 2）。

9 月 26 日 20 時頃から、体に感じない規模の小さな火山性地震が増加しました。28 日にはやや減少しましたが、29 日の火山性微動発生直後の 14 時から 15 時までの 1 時間に約 140 回発生するなど急増し、その後も多い状態が続きました。本日（30 日）03 時以降は 1 時間当たり数回以下と減少しましたが、地震が増加した 26 日以前に比べてやや多い状態が続いています（図 2）。

震源は概ねポンマチネシリ火口の浅い所に分布しており、これまでと比べて特に変化はありません（図 3）。

なお、火山性微動は 29 日 14 時 11 分以降、観測されていません。

・噴煙の状況（図 4）

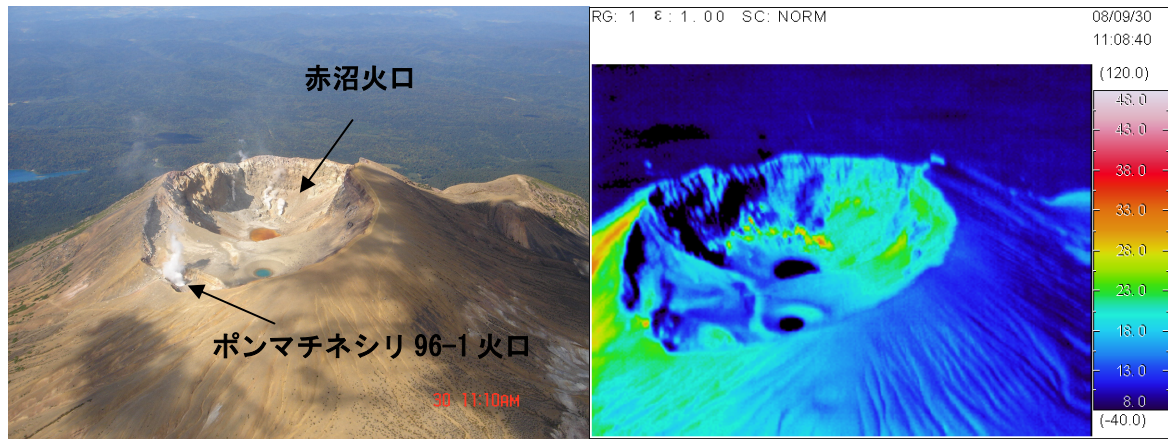
遠望カメラによる観測では、噴煙及び火口周辺の状況に変化はなく、噴煙の高さは 100m 以下で推移しており、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

・地殻変動（図 5～6）

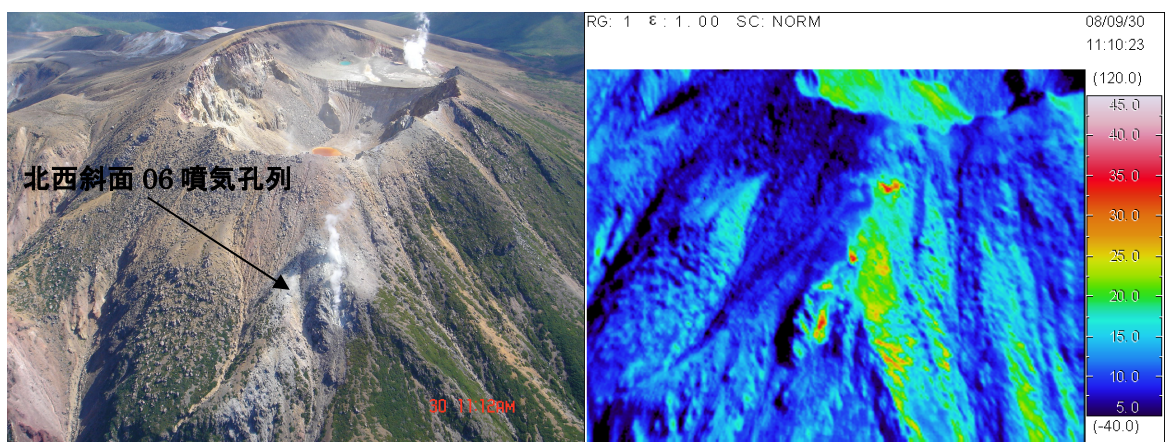
GPS 連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されていません。

※資料は気象庁のほか、北海道、北海道立地質研究所のデータも利用して作成しています。

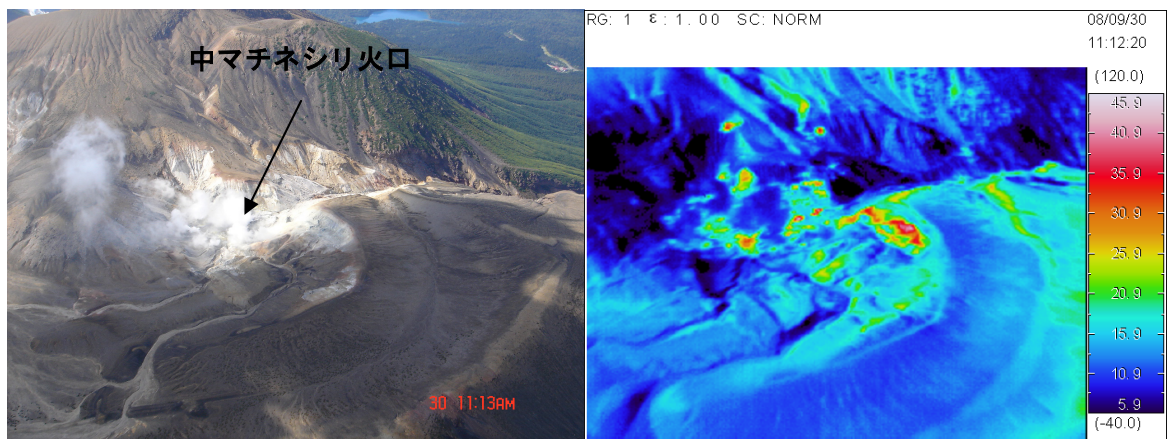
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものである。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）



南東側上空から撮影したポンマチネシリ火口と赤沼火口
(2008 年 9 月 30 日 11 時 08 分撮影)



北西側上空から撮影した北西斜面 06 噴気孔列
(2008 年 9 月 30 日 11 時 10 分撮影)



東側上空から撮影した中マチネシリ火口
(2008 年 9 月 30 日 11 時 12 分撮影)

図 1 赤外熱映像装置による各火口の地表面温度分布

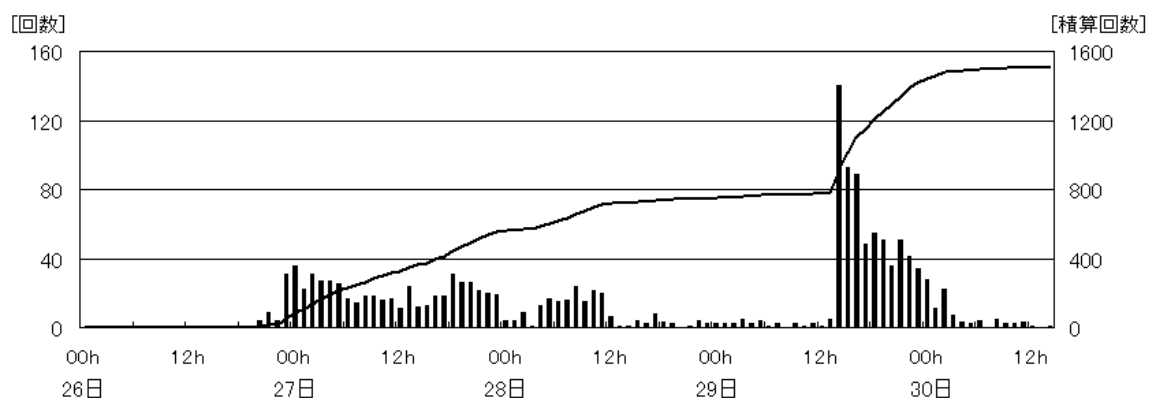


図 2 雌阿寒岳 火山性地震の時間別回数（2008 年 9 月 26 日～9 月 30 日 15 時）
棒グラフは時間別回数、折れ線グラフは積算回数

表 1 雌阿寒岳 火山性地震・微動の月回数（B 点）

2007～2008 年	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
地震回数	32	23	26	1056	58	23	20	28	20	29	54	1513
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

表 2 最近の火山性微動の発生状況

発生日時	最大振幅（ μm ）	継続時間
2006 年 2 月 18 日 09 時 09 分	約 0.2	約 1 分
2006 年 2 月 18 日 09 時 27 分	約 0.4	約 1 分
2006 年 2 月 19 日 01 時 03 分	約 0.1	約 1 分
2006 年 2 月 19 日 06 時 50 分	約 0.1	約 1 分
2006 年 2 月 20 日 05 時 49 分	約 0.1	約 17 分
2006 年 3 月 19 日 21 時 58 分	約 0.2	約 1 分
2006 年 3 月 21 日 06 時 28 分	約 4.3	約 240 分
2006 年 3 月 23 日 07 時 19 分	約 0.4	約 4 分
2006 年 3 月 23 日 16 時 54 分	約 0.1	約 3 分
2006 年 5 月 9 日 16 時 43 分	約 0.2	約 1 分
2008 年 9 月 16 日 10 時 12 分	約 0.2	約 1 分
2008 年 9 月 29 日 14 時 11 分	約 2.4	約 4 分

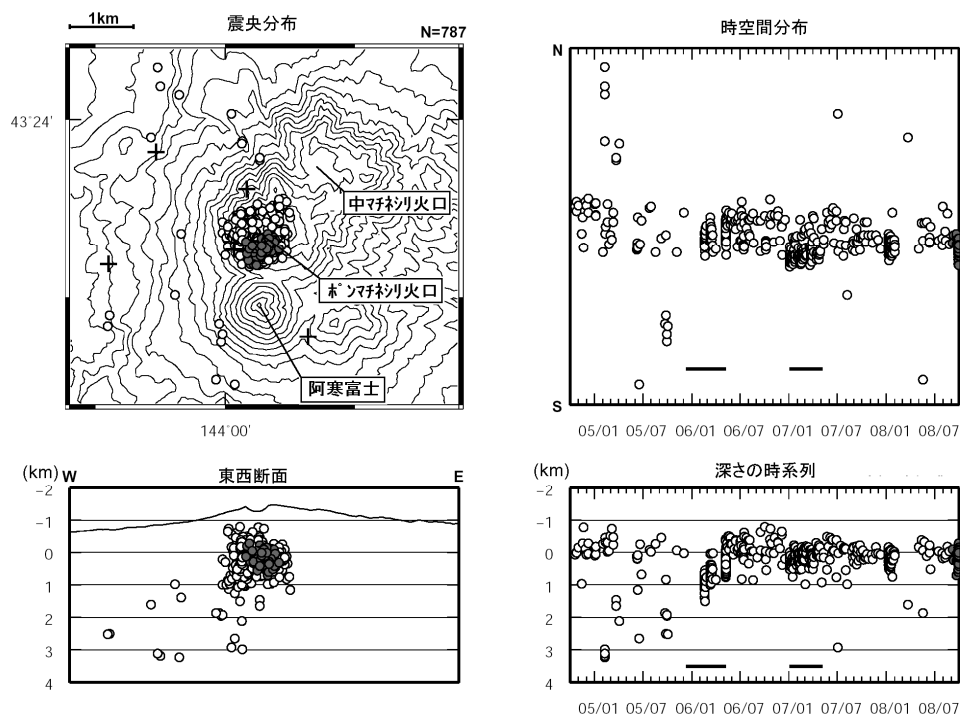


図 3 雌阿寒岳 火山性地震の震源分布（2004 年 10 月 1 日～2008 年 9 月 30 日 15 時現在）
（丸印：震源、+印：地震観測点）

●：2008 年 9 月 1 日～2008 年 9 月 30 日の震源

○：2004 年 10 月 1 日～2008 年 8 月 31 日の震源

表示期間中、2005 年 12 月 11 日から 2006 年 5 月 9 日及び 2007 年 1 月 3 日から 2007 年 5 月 5 日にかけて、一部観測点欠測のため震源決定数が減少し、精度も低下しています。

- ・震源の多くはポノマチネシリ火口直下の浅い所（山頂から深さ 1～3 km 付近）に分布しています。2008 年 9 月 26 日以降の震源も概ねこの領域内に分布しています。



図 4 雌阿寒岳 上徹別の遠望カメラで見た雌阿寒岳の状況
（2008 年 9 月 30 日 15 時 15 分頃撮影）

- ・遠望カメラによる観測では、噴煙の高さは 100m 以下で推移しており、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

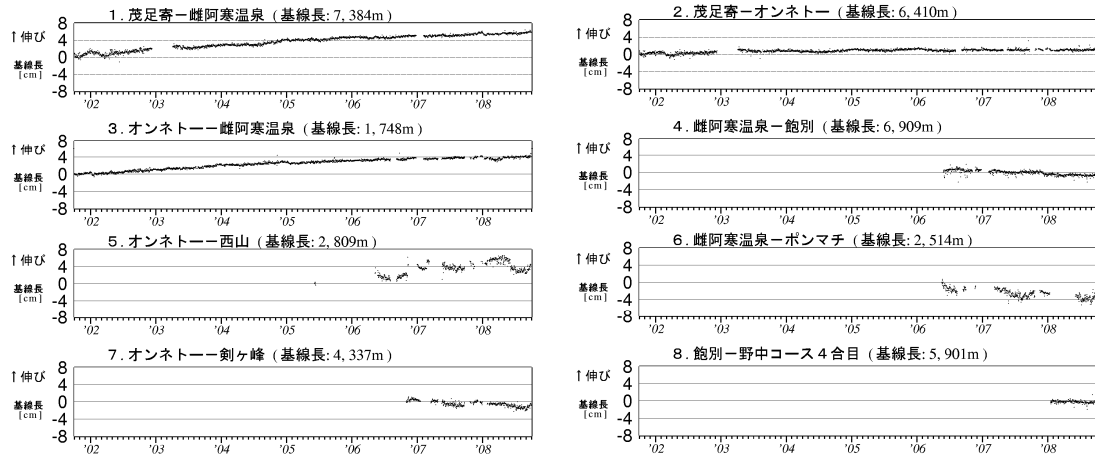


図 5 ※ 雌阿寒岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 10 月 1 日～2008 年 9 月 30 日）
基線長変化 1～8 は、図 6 の観測点配置図の基線番号①～⑧に対応しています。

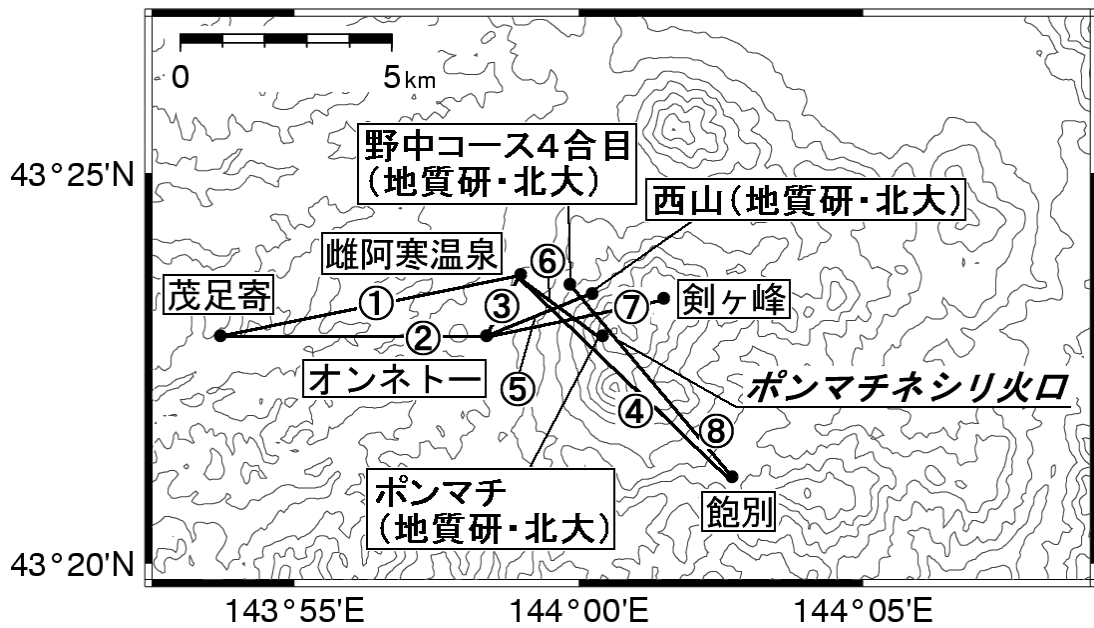
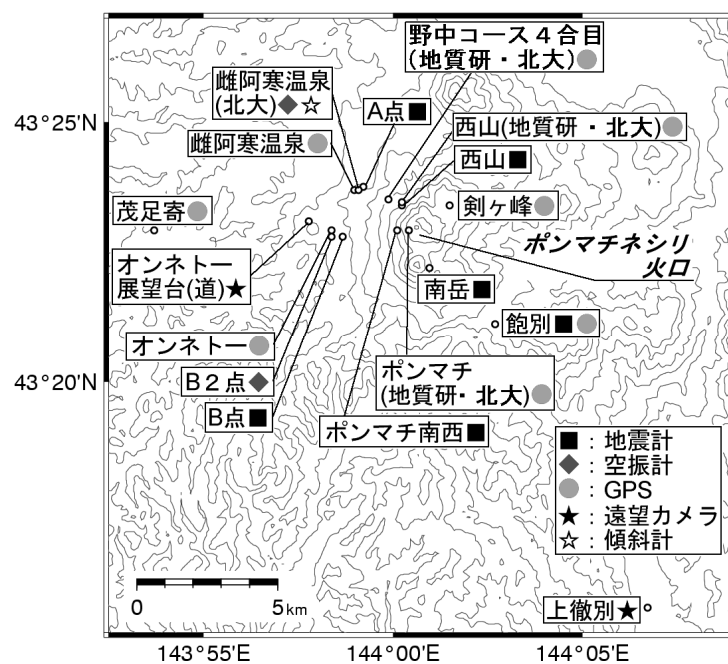


図 6 雌阿寒岳 GPS 連続観測点配置図

○観測点情報



観測点一覧表 雌阿寒岳（気象庁設置分、緯度・経度は世界測地系）

観測機器	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始 年月
		緯度(度分)	経度(度分)	標高(m)		
地震計	A点	43 23.7	143 59.2	740	0	1981 年 1 月
	B点	43 22.8	143 58.7	680	-1	2000 年 11 月
	西山	43 23.4	144 00.3	1275	0	2001 年 11 月
	ポンマチ南西	43 22.9	144 00.1	1265	0	2003 年 6 月
	南岳	43 22.2	144 01.0	1096	0	2004 年 10 月
	飽別	43 21.1	144 02.7	803	0	2006 年 11 月
空振計	B 2 点	43 22.8	143 58.4	636	2	2000 年 11 月
遠望カメラ	上徹別	43 15.7	144 06.7	145	4	1996 年 4 月
GPS	オンネトー	43 22.9	143 58.4	636	8	2001 年 9 月
	茂足寄	43 22.9	143 53.7	354	3	2001 年 9 月
	雌阿寒温泉	43 23.7	143 59.0	719	4	2001 年 9 月
	飽別	43 21.1	144 02.7	803	4	2006 年 5 月
	剣ヶ峰	43 23.5	144 01.9	1184	1	2006 年 11 月

○ 噴火警報等の発表状況

発表時刻	情報番号	内容
2008 年 9 月 29 日 14 時 30 分	火口周辺警報 (火口周辺危険)	火山性微動の発生
2008 年 9 月 29 日 15 時 20 分	火山の状況に関する 解説情報第 1 号	火山性微動発生後の状況
2008 年 9 月 30 日 16 時 00 分	火山の状況に関する 解説情報第 2 号	地震の発生状況、上空からの観測結果